

公立森町病院

			受付時間	月	火	水	木	金	備考
内 科	初診	午前	8:00～11:30	廣岡正史 岩本達治	鈴木勇三	岩本達治	廣岡正史	松家健一	月曜日:第1・3・5週 廣岡／第2・4週 岩本
	再診			松家健一 岩本達治	廣岡正史	廣岡正史	岩本達治	廣岡正史	
	初診	午後	13:00～15:30				岩本達治 松家健一		木曜日:第1・3・4週 岩本／第2・5週 松家
	再診			中村昌樹		松家健一	松家健一	岩本達治	
内 科 (専門外来)	循環器 ペースメーカー	午前	8:00～11:30					城向裕美子	毎月第2・4金曜日
	リウマチ 膠原病	午後	13:00～15:30	小川法良					
	肝臓・すい臓		13:00～16:00					森下宗自	毎月1回の金曜日: 8/21、9/18、10/16
	呼吸器	午前	8:00～11:30						
	神経内科				鎌田 皇				毎月第2火曜日
	もの忘れ外来	午後	13:00～15:30 (完全予約制)				石川邦子		毎月第4木曜日
	心療内科		13:00～15:30 (完全予約制)			二宮貴至			毎月第2・3水曜日: 8/12、8/19、9/9、9/17、9/30、10/14、10/21
	禁煙外来		14:30～16:00 (完全予約制)			水野義仁			
外 科	初再診	午前	8:00～11:30	大場浩次	児玉 乾		中村昌樹 児玉 乾	大場浩次	診察状況により受付終了が早まる場合があります。
外 科 (専門外来)	形成外科	午前	8:00～11:30		山田萌絵				
	痛み治療	午後	13:00～15:30					鳥居英文	毎月第1金曜日
整形外科	初診	午前	8:00～10:45	井出浩一郎	伊藤禎志 鳥養栄治	渡邊 悠	山田智裕	堀口 航	診察状況により受付終了が早まる場合があります。 火曜日:第1・3・5週 伊藤／第2・4週 鳥養
	再診		8:00～11:30		岡本庄造	岡本庄造		岡本庄造	
整形外科 (専門外来)	リハビリ	午後	14:00～15:00 (完全予約制)	永房鉄之					毎月第1・3・5月曜日
歯科口腔外科		午前	月・火・木 8:30～11:00 水・金 8:15～11:00	大高千明	大高千明	林祐太郎	大高千明	小川主税	
		午後	火・木 13:00～15:00 水・金 13:00～16:00		大高千明	林祐太郎	大高千明	加藤文度	
耳鼻咽喉科	午前	午前	8:00～11:00	細川久美子	石川竜司				
			9:30～11:30	補聴器外来					
	午後	午後	13:00～15:30			森本雅太 補聴器外来			毎月第2・4水曜日 毎月第2水曜日
眼科		午後	13:00～15:30	高山理和			武内宏樹		
泌尿器科		午前	8:00～11:00			杉山貴之			受付時間:再診は、8:00～11:30
		午後	13:00～15:30				宇佐美隆利		
皮膚科		午前	8:00～11:30			福地健祐	中澤慎介	伊藤泰介	
小児科		午前	8:00～11:30	戸田 克	戸田 克	戸田 克	幸田昌樹	戸田 克	
		午後	13:30～16:00	—	—	戸田 克	夏目 統	戸田 克	木曜日:第2・4週 アレルギー・外来／第1・3・5週 一般小児
	乳児検診	午後	13:30～15:00				戸田 克		木曜日:第2・4週
	予防接種		13:30～16:00		戸田 克				木曜日:第1・3・5週
予防接種(成人)		午後	14:00～14:30			水野義仁			

森町家庭医療クリニック

	受付時間	月	火	水	木	金	備考
午前	8:15～11:30	棚橋信子 堀井敦史 柴田靖美	中村昌樹 堀井敦史 山田智子 福地芳浩	安部公崇 柴田靖美 松永 拓 二宮貴至	鳴本敬一郎 棚橋信子 安部公崇 松永 拓 久保田紗英	棚橋信子 堀井敦史 岩田智子 柴田靖美 遠藤美穂	二宮:第2・3水曜日 8/12、8/19、9/9、9/17、9/30、10/14、10/21 巡回診療:第2(金)上野平公民館／第4(金)三丸会館 予防接種は毎日行っています。お問い合わせください。
午後	13:00～16:00	水野義仁 安部公崇 柴田靖美 小串真澄	堀井敦史 山田智子 福地芳浩	棚橋信子 安部公崇	休診	鳴本敬一郎 岩田智子 遠藤美穂 (臨床心理士)	木曜の午後は休診となります。 最終受付時間が午後4時までとなりました。

※都合により、担当医師・診療時間に変更される場合があります。詳しくは、病院・クリニックまでお問い合わせください。

お問い合わせ先 ◇公立森町病院／TEL:0538-85-0270 ◇森町家庭医療クリニック／TEL:0538-85-1340

病院だより



基本理念

患者さまの人権を尊重し、心の通った医療を実践することで、地域と共にある病院を目指します。



令和2年度 公立森町病院キャッチフレーズ
生活者を支える医療

特集

災害避難と薬 ～森町病院薬剤科より～

糖尿病教育入院について ～森町病院内科より～

※病院だより「春夏秋冬」を森町内全戸配付しています。有意義な情報をお伝えできるよう努めてまいりますので、ぜひご覧ください。

公立森町病院

〒437-0214 静岡県周智郡森町草ヶ谷391-1
TEL:0538-85-2181／予約専用:0538-85-0270
http://hospital.town.morimachi.shizuoka.jp/



森町家庭医療クリニック

〒437-0214 静岡県周智郡森町草ヶ谷387-1
TEL:0538-85-1340
http://www.morimachi-fc.com/



表紙について

今年度の森町病院キャッチフレーズ
「生活者を支える医療」のイメージイラスト
医療とは、様々な役割の専門職が互いに補完
しあって成り立つシステムです。それぞれの
役割を担う各専門職の質が医療の質につな
がります。これからの医療の質を、生活者を支
える医療という観点から考え、職員一同取り
組んでまいります。

特集 災害避難と薬

1 ～森町病院薬剤科より～

台風などの自然災害が発生する季節になってきました。
今回は災害などで避難する際の「薬」についてお話します。

先日の九州等の豪雨災害や東日本大震災、熊本地震等で避難する際に、病気を抱えた人が毎日服用していた薬を失い、すぐに薬が手に入らず治療が遅れ、病状が悪化する事態が多く発生しました。
被災した時に、いかに服用薬を持ち出すか、病気や服用薬の正確な情報を避難先で伝えることが出来るかが、このような2次被害を防ぐ上で大切になってきます。



1 持ち出す薬の準備(日頃からの備え)

○定期服用薬や常備薬は一カ所にまとめ、薬袋、お薬手帳、薬剤情報提供文書(薬の説明書)と一緒に保管しておきましょう。(インスリンなどの自己注射の方はアルコール綿等の衛生用品も忘れずに。)

○保管場所は、家族みんなが共有出来て、わかりやすい、持ち出しやすい場所が良いでしょう。(介護サービス等を受けている方は、介護スタッフ、ヘルパーの方にも伝えておきましょう。)

○災害に備え、定期服用薬はおおよそ1週間程度の備蓄分があると安心できます。(備蓄分は処方医にご相談ください。)

○災害の発生は自宅にいる時ばかりとは限りません。出来れば、外出時にも最低でも3日分の薬とお薬手帳を持ち歩くことをお勧めします。

2 避難する際に

- 最新の
- ① 服用薬(薬袋と一緒に)
 - ② お薬手帳



- ③ 薬の説明書
- ④ かかりつけ医や薬局の名前、電話番号等の情報
- ⑤ 消毒薬やガーゼなどの日頃使用している衛生用品を、避難袋と共に持ち出します。

3 避難先での対応

避難先での救護所のスタッフに、持ち出した薬、お薬手帳などを見せて自分の病気のことを正確に伝えてください。



4 薬が持ち出せなかった時のために

災害避難の際には、混乱で薬を持ち出せなかったり、動揺していて服用薬の名前や飲み方を忘れていたりして正確に伝えられなくなることがあります。また、かかりつけ医や薬局も同時に被災しているなど病気と薬の情報を確かめることが出来なくなる恐れもあります。その時のために、ご本人だけでなく家族や親戚、知人などに病気のことや服用薬の情報を伝え、共有しておくことが出来ると安心です。情報を記録したり、伝えるため以下の様な方法もあります。



- ①携帯電話で、服用薬(薬袋)やお薬手帳などの写真を撮り記録すると共に、家族にメール等で情報を送り共有する。
 - ②お薬手帳や薬剤情報提供文書のコピーを離れた家族や信頼のおける親戚、知人にメールやファックス、郵便等で送っておく。(重要な個人情報ですので取り扱いには十分な配慮をお願いします。)
- いざという時、離れた場所に情報を置くことで、同時に被災しなかった人から情報を聞くことが出来ます。

※「お薬手帳」には、現在どのような薬をどのように服用しているかの他に、処方医療機関名や過去の服用歴、副作用歴、アレルギー歴が記載されています。氏名、生年月日、既往歴、服用中の市販薬を記入しておくことで、患者さん自身の大切な情報を持ち運べる大切な手帳です。災害はいつおこるかわかりません。すぐにでも持ち出し品の準備、確認をおこなってください。備えあれば憂いなしです。



特集 森町病院では糖尿病教育入院を行っています

2 ～森町病院内科より～

糖尿病は、全く症状がなく存在しつづけ、いつのまにか血管を脆く・狭くしていく病気です。しかし、日常生活に注意することで予防ができ、合併症の進行を抑えることができます。糖尿病をよく知って頂き、ご自分の生活に変化を取り入れるきっかけになればと教育入院を行っています。詳細については、内科外来にあるミニパンフレットをご参照ください。

○対象の方

重症度や治療内容を問わず、糖尿病でお悩みの方

○教育入院の指導ポイント

糖尿病の状態に大きく影響を与えるのはやはり食事です。病院食は、医師の指示のもと、カロリー数を厳格に決めて提供します。

ご飯の量、おかずの量、その内容・組み合わせがはっきりイメージできるようになることが一番です。その他にも多職種で連携して指導を行います。(看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士・歯科衛生士)

○どうしたら受けられる?

主治医にご相談していただくか、内科外来のスタッフまでご連絡ください。



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためご協力をお願いします。

病院にお越しのすべての方に体温測定とマスクの着用をお願いしています。AI(人工知能)をもちいた体温測定器を入口ホールに設置し、来院者の体温を確認しています。体温が高いとアラームが鳴りますので、アラームが鳴った方には、接触式の体温計で再度の測定をお願いします。発熱を伴う症状で受診される方を除いた、体温が37.5℃以上の方には院内への入館をお断りしています。

すべての方に体温測定を行うために、平日は病院の入口と出口を分けています。また、家庭医療クリニックでも同様に検温を実施しております。ご不便をお掛けしますがご理解・ご協力をお願いいたします。



正面に立って画面を見てください



検温画面を見てください